

第 2 章

高齢者の現状と将来推計

第2章 高齢者の現状と将来推計

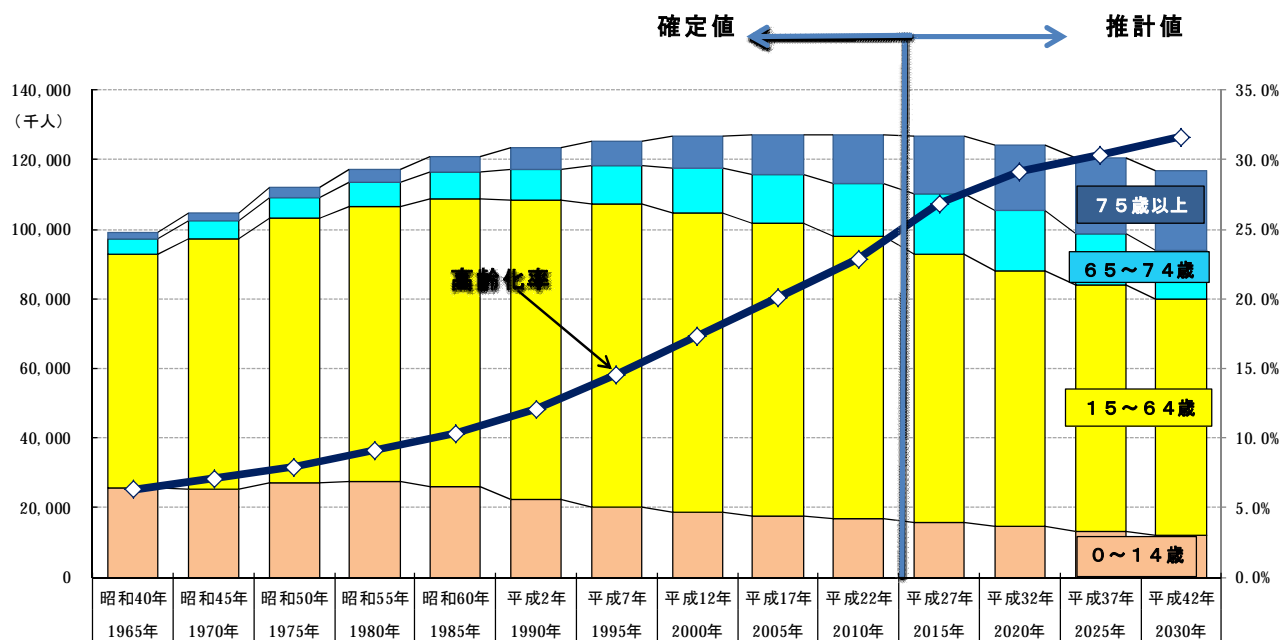
第1節 高齢者の現状

第1項 人口構造

国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、全国の高齢者（65歳以上）人口は、平成22年では2925万人でしたが、平成37年には3657万人に増加します。一方、15歳～64歳の生産年齢人口は、平成22年では8103万人だったのが、平成37年には7085万人に減少します。そのため、高齢化率は、平成22年では22.8%でしたが、平成37年には30.3%になります。

また、75歳以上の後期高齢者数は平成22年では1407万人でしたが、平成37年には2179万人になると予測されています。

【全国の人口推移】



(単位：千人)

	昭和40年 1965年	昭和45年 1970年	昭和50年 1975年	昭和55年 1980年	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年
総人口	99,209	104,665	111,940	117,060	121,049	123,611	125,570	126,926	127,768	128,057	126,597	124,100	120,659	116,618
高齢者人口	6,236	7,393	8,865	10,647	12,468	14,895	18,261	22,005	25,672	29,246	33,952	36,124	36,573	36,849
(うち後期高齢)	1,894	2,237	2,841	3,660	4,712	5,973	7,170	8,999	11,602	14,072	16,458	18,790	21,786	22,784
生産年齢人口	67,444	72,119	75,807	78,835	82,506	85,904	87,165	86,220	84,092	81,032	76,818	73,408	70,845	67,730
高齢化率	6.3%	7.1%	7.9%	9.1%	10.3%	12.0%	14.5%	17.3%	20.1%	22.8%	26.8%	29.1%	30.3%	31.6%

資料：総務省「国勢調査」

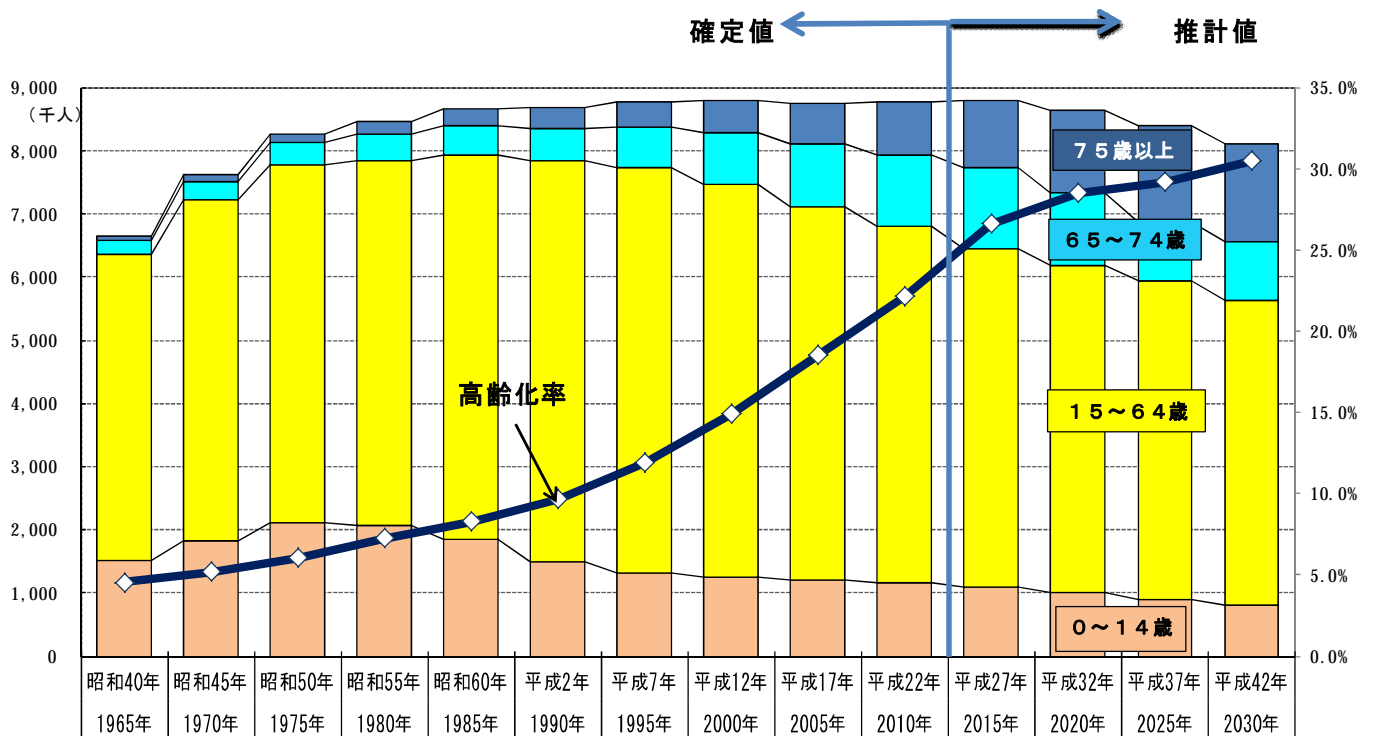
国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

※高齢化率の計算において、国勢調査の総数には不詳人口を含んでいる。

同様に、大阪府の65歳以上人口は、平成22年では196万人でしたが、平成37年には246万人に増加します。一方、15歳～64歳の生産年齢人口は、平成22年では565万人だったのが、平成37年には505万人に減少します。そのため、高齢化率は、平成22年では22.1%でしたが、平成37年には29.2%になります。

また、後期高齢者数は平成22年では83万人でしたが、平成37年には153万人になると予測されており、全国平均以上の増加率となります。

【大阪府の人口推移】



(単位：千人)

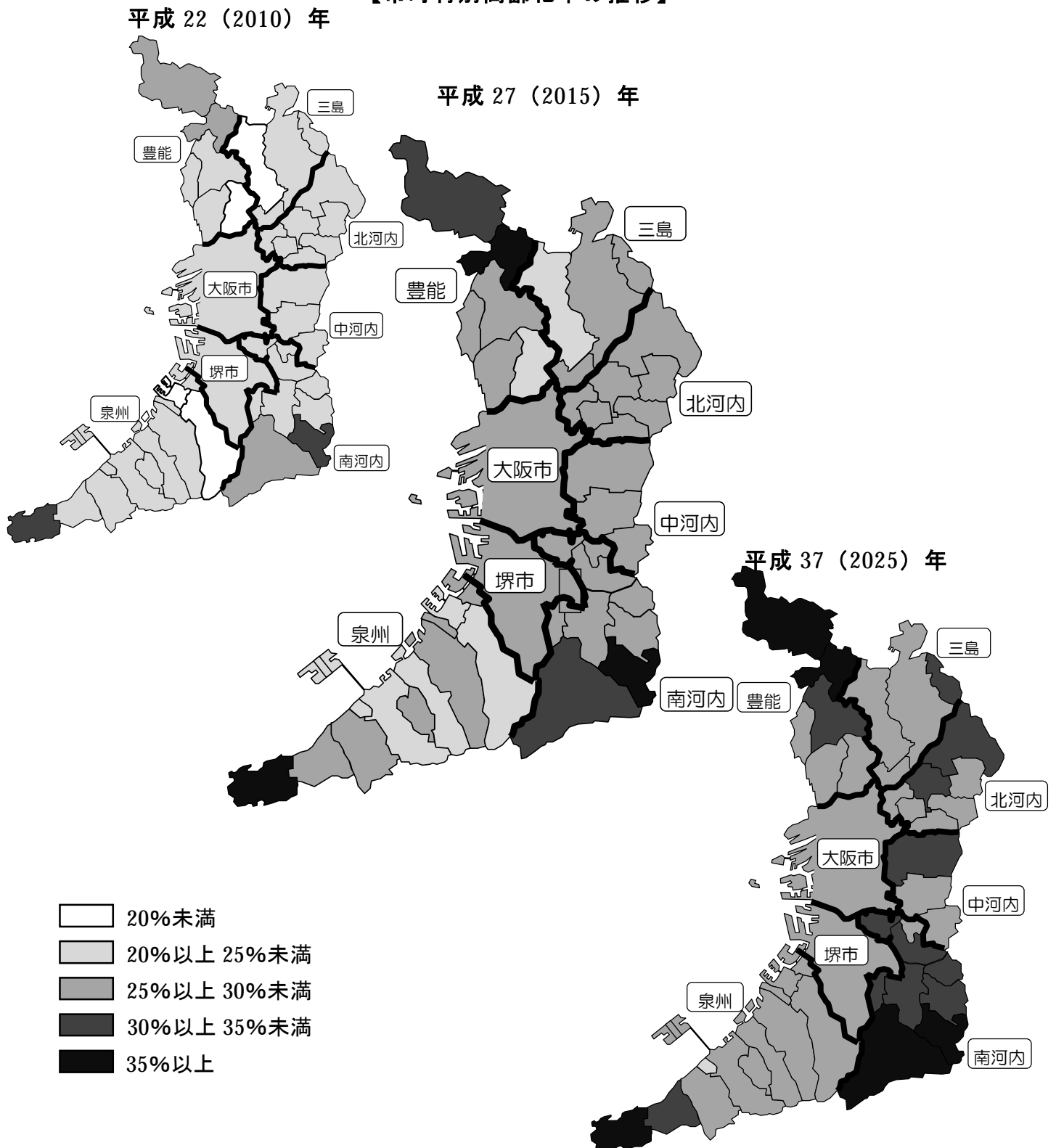
	昭和40年 1965年	昭和45年 1970年	昭和50年 1975年	昭和55年 1980年	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年
総人口	6,657	7,620	8,279	8,473	8,668	8,735	8,797	8,805	8,817	8,865	8,808	8,649	8,410	8,118
高齢者人口	304	394	501	613	717	843	1,048	1,315	1,634	1,963	2,345	2,467	2,457	2,476
(うち後期高齢)	79	103	143	194	262	334	396	493	650	833	1,070	1,304	1,528	1,549
生産年齢人口	4,827	5,406	5,653	5,783	6,094	6,348	6,412	6,224	5,914	5,648	5,370	5,183	5,048	4,827
高齢化率	4.6%	5.2%	6.0%	7.2%	8.3%	9.7%	11.9%	14.9%	18.5%	22.1%	26.6%	28.5%	29.2%	30.5%

資料：総務省「国勢調査」 国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口
 ※高齢化率の計算において、国勢調査の総数には不詳人口を含んでいる。

国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の推計値により高齢化率を圏別で見ると、平成27年は、南河内圏が28.4%と最も高く、平成37年には32.3%になると予測されています。

また、次に高いのは中河内圏で平成27年が28.1%、平成37年には30.8%になると見込まれます。

【市町村別高齢化率の推移】



【圏別高齢化率】

(単位：人)

圏名	平成22(2010)年(国勢調査数値)				平成27(2015)年(推計値)				平成37(2025)年(推計値)			
	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率
府合計	8,865,245	5,648,070	1,962,748	22.1%	8,808,282	5,370,289	2,345,351	26.6%	8,410,039	5,048,274	2,457,235	29.2%
大阪市	2,665,314	1,734,432	598,835	22.5%	2,663,783	1,664,750	701,416	26.3%	2,553,167	1,570,661	726,306	28.4%
豊能	1,012,902	655,933	215,364	21.3%	1,007,617	618,639	258,286	25.6%	968,191	582,846	277,862	28.7%
三島	744,836	477,353	159,284	21.4%	749,034	452,543	193,957	25.9%	730,980	436,085	207,374	28.4%
北河内	1,185,935	748,856	262,014	22.1%	1,172,288	703,609	323,304	27.6%	1,108,862	650,837	341,621	30.8%
中河内	855,766	522,097	193,025	22.6%	837,620	503,358	235,448	28.1%	779,398	461,447	240,073	30.8%
南河内	636,008	399,148	148,908	23.4%	619,835	368,517	176,023	28.4%	574,652	331,287	185,578	32.3%
堺市	841,966	531,324	189,318	22.5%	841,587	503,059	224,864	26.7%	814,289	486,525	231,357	28.4%
泉州	922,518	578,927	196,000	21.2%	916,518	555,814	232,053	25.3%	880,500	528,586	247,064	28.1%

資料：総務省「国勢調査」 国立社会保障・人口問題研究所 「将来推計人口」

市町村	平成22(2010)年(国勢調査数値)				平成27(2015)年(推計値)				平成37(2025)年(推計値)			
	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率	総人口	15～64歳	65歳以上	高齢化率
大阪府	8,865,245	5,648,070	1,962,748	22.1%	8,808,282	5,370,289	2,345,351	26.6%	8,410,039	5,048,274	2,457,235	29.2%
大阪市	2,665,314	1,734,432	598,835	22.5%	2,663,783	1,664,750	701,416	26.3%	2,553,167	1,570,661	726,306	28.4%
豊中市	389,341	249,138	85,676	22.0%	387,855	236,194	100,364	25.9%	372,894	224,895	104,989	28.2%
池田市	104,229	67,083	22,777	21.9%	102,460	62,468	27,055	26.4%	96,771	57,785	28,686	29.6%
吹田市	355,798	234,339	69,823	19.6%	355,111	223,373	84,693	23.8%	343,578	212,381	92,465	26.9%
箕面市	129,895	84,302	27,850	21.4%	131,013	79,261	34,701	26.5%	128,442	75,385	39,042	30.4%
豊能町	21,989	13,800	6,054	27.5%	20,512	11,203	7,753	37.8%	17,564	8,048	8,562	48.7%
能勢町	11,650	7,271	3,184	27.3%	10,666	6,140	3,720	34.9%	8,942	4,352	4,118	46.1%
高槻市	357,359	224,840	82,863	23.2%	358,819	212,874	98,675	27.5%	349,044	205,959	102,633	29.4%
茨木市	274,822	178,978	53,491	19.5%	278,174	171,196	66,864	24.0%	275,228	166,418	74,305	27.0%
摂津市	83,720	54,930	16,738	20.0%	82,345	50,603	20,688	25.1%	78,303	47,399	21,748	27.8%
島本町	28,935	18,605	6,192	21.4%	29,696	17,870	7,730	26.0%	28,405	16,309	8,688	30.6%
守口市	146,697	91,736	35,832	24.4%	143,624	86,628	40,620	28.3%	134,053	81,221	39,444	29.4%
枚方市	407,978	258,162	86,742	21.3%	407,709	243,131	112,583	27.6%	391,948	222,951	127,101	32.4%
寝屋川市	238,204	149,989	55,011	23.1%	232,864	137,877	68,098	29.2%	215,701	123,592	70,987	32.9%
大東市	127,534	82,090	26,415	20.7%	126,337	77,707	32,169	25.5%	120,230	73,485	33,369	27.8%
門真市	130,282	83,053	29,774	22.9%	127,530	77,809	34,717	27.2%	118,735	72,948	33,778	28.4%
四條畷市	57,554	34,629	11,623	20.2%	57,209	33,968	15,143	26.5%	54,751	32,587	15,734	28.7%
交野市	77,686	49,197	16,617	21.4%	77,015	46,489	19,974	25.9%	73,444	44,053	21,208	28.9%
八尾市	271,460	164,070	62,524	23.0%	266,577	158,861	74,470	27.9%	249,791	148,389	74,636	29.9%
柏原市	74,773	48,661	15,900	21.3%	72,376	44,778	18,927	26.2%	66,638	40,050	19,921	29.9%
東大阪市	509,533	309,366	114,601	22.5%	498,667	299,719	142,051	28.5%	462,969	273,008	145,516	31.4%
富田林市	119,576	76,515	26,173	21.9%	115,330	70,691	31,501	27.3%	105,152	60,972	34,654	33.0%
河内長野市	112,490	70,200	28,153	25.0%	108,004	62,414	33,772	31.3%	97,465	52,102	36,712	37.7%
松原市	124,594	77,488	29,905	24.0%	121,365	72,097	34,437	28.4%	112,196	66,747	33,973	30.3%
羽曳野市	117,681	73,221	27,678	23.5%	115,674	68,391	32,355	28.0%	108,798	63,742	33,345	30.6%
藤井寺市	66,165	41,754	15,013	22.7%	65,702	39,689	17,370	26.4%	62,967	37,747	18,065	28.7%
大阪狭山市	58,227	36,892	12,915	22.2%	57,846	34,230	15,886	27.5%	55,388	31,594	17,580	31.7%
太子町	14,220	8,988	3,003	21.1%	13,870	8,422	3,611	26.0%	12,912	7,664	3,935	30.5%
河南町	17,040	10,567	4,190	24.6%	16,453	9,747	4,835	29.4%	15,019	8,546	5,055	33.7%
千早赤阪村	6,015	3,523	1,878	31.2%	5,591	2,836	2,256	40.4%	4,755	2,173	2,259	47.5%
堺市	841,966	531,324	189,318	22.5%	841,587	503,059	224,864	26.7%	814,289	486,525	231,357	28.4%
岸和田市	199,234	124,918	43,834	22.0%	195,882	118,659	50,034	25.5%	185,439	111,747	51,673	27.9%
泉大津市	77,548	49,570	15,344	19.8%	76,516	47,355	18,261	23.9%	73,012	45,005	19,296	26.4%
貝塚市	90,519	56,486	19,494	21.5%	89,668	54,191	22,192	24.7%	85,852	51,943	23,153	27.0%
泉佐野市	100,801	64,209	21,761	21.6%	100,927	62,609	24,947	24.7%	98,013	61,019	26,060	26.6%
和泉市	184,988	116,274	34,510	18.7%	188,502	116,553	44,382	23.5%	187,821	113,473	51,088	27.2%
高石市	59,572	37,192	13,446	22.6%	58,014	34,550	15,530	26.8%	54,168	32,041	15,886	29.3%
泉南市	64,403	39,510	14,566	22.6%	63,654	37,262	17,023	26.7%	60,774	35,585	17,595	29.0%
阪南市	56,646	35,721	12,726	22.5%	55,283	32,800	15,447	27.9%	51,298	28,983	16,875	32.9%
忠岡町	18,149	10,748	4,112	22.7%	18,204	10,687	4,893	26.9%	17,699	10,545	4,931	27.9%
熊取町	45,069	29,172	9,133	20.3%	45,136	27,209	11,596	25.7%	43,785	25,597	12,999	29.7%
田尻町	8,085	4,977	1,733	21.4%	8,275	4,947	1,920	23.2%	8,380	5,124	1,950	23.3%
岬町	17,504	10,150	5,341	30.5%	16,457	8,992	5,828	35.4%	14,259	7,524	5,558	39.0%

資料：総務省「国勢調査」 国立社会保障・人口問題研究所 「将来推計人口」

第2項 高齢化の要因

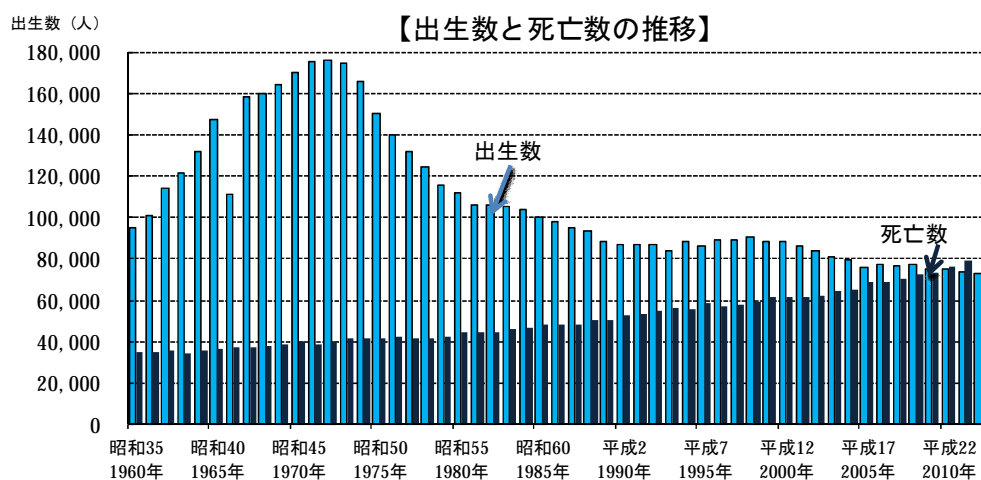
高齢化の要因としては、平均寿命の延伸による65歳以上人口の増加、出生数の減少といった全国的な状況に加え、府固有の要因として、高度成長期に流入した団塊の世代が高齢期を迎えたこと、及び、生産年齢層の流出が続いていることなどが挙げられます。

○ 出生と死亡

大阪府の出生数は、第2次ベビーブーム（昭和46～48年）頃をピークとして減少傾向にあります。また、合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に産むと推計される平均子ども数）が、人口が増減せずに均衡する上で必要とされる2.07を大きく下回る1.31（平成24年度）となっています。

一方、大阪府の死亡数は、高齢者数の増加に伴い、長期的に微増が続いています。

また、大阪府の平均寿命は、平成22年で、男78.99歳、女85.93歳と、全国より低いものの年々伸びています。



【合計特殊出生率の推移】

	平成22年 2010年	平成23年 2011年	平成24年 2012年
大阪府	1.33	1.30	1.31
全国	1.39	1.39	1.41

資料：厚生労働省 人口動態統計

【平均寿命】

		平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年
男性	大阪府	75.02	75.90	76.97	78.21	78.99
	全国	75.92	76.38	77.72	78.56	79.59
女性	大阪府	81.16	82.52	84.01	85.20	85.93
	全国	81.90	82.85	84.60	85.52	86.35

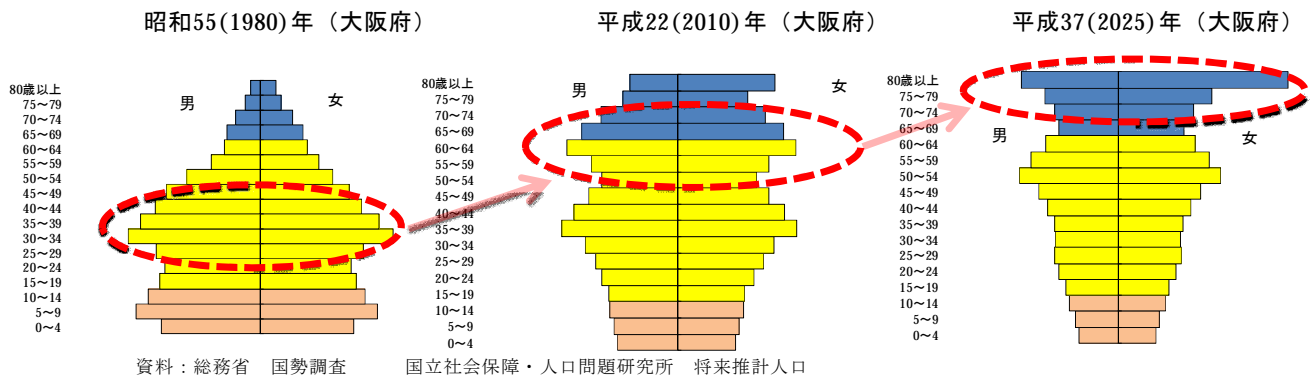
資料：厚生労働省 完全生命表、都道府県別生命表

○ 人口構造の変化

大阪府の人口を5歳階級別の人口ピラミッドで見ると、「昭和55年」には団塊の世代（昭和22年～24年生まれ 第1次ベビーブーム世代）が生産年齢（15歳～64歳）となり、大きな構成比を占めています。

昭和55年から30年経過した「平成22年」では、団塊の世代が60～64歳に、団塊の世代ジュニアが35歳から39歳の層で人口が多く、偏在しています。

平成22年から15年経過した平成37年の人口構造を国立社会保障・人口問題研究所の将来推計でみると、団塊の世代は75歳～79歳になっています。また、長寿化によって、80歳以上が多くなっています。

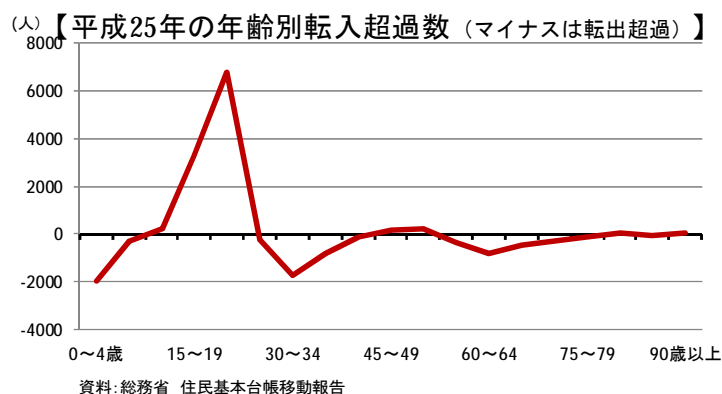
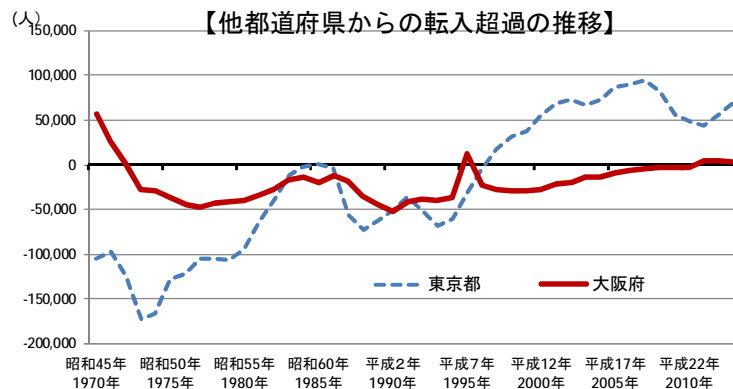


○ 転入と転出のバランス

大阪府への人口の流入状況を見ると、昭和45年頃以降、平成7年を除いて、転出傾向が続いていましたが、近年、わずかながら転入超過になっています。

平成25年の転出入状況を見ると、15歳～20歳代後半では転入超過ですが、30歳～40歳頃では転出超過となっています。

なお、高齢期を見ると、60歳前後で転出超過になりますが、70歳以降は、転入数と転出数が均衡した状況にあります。



第3項 高齢者世帯の状況

大阪府における高齢者のいる一般世帯（施設等の入所者等以外の世帯）は、平成22年では134万5444世帯ですが、平成37年には146万7121世帯になると推計されています。

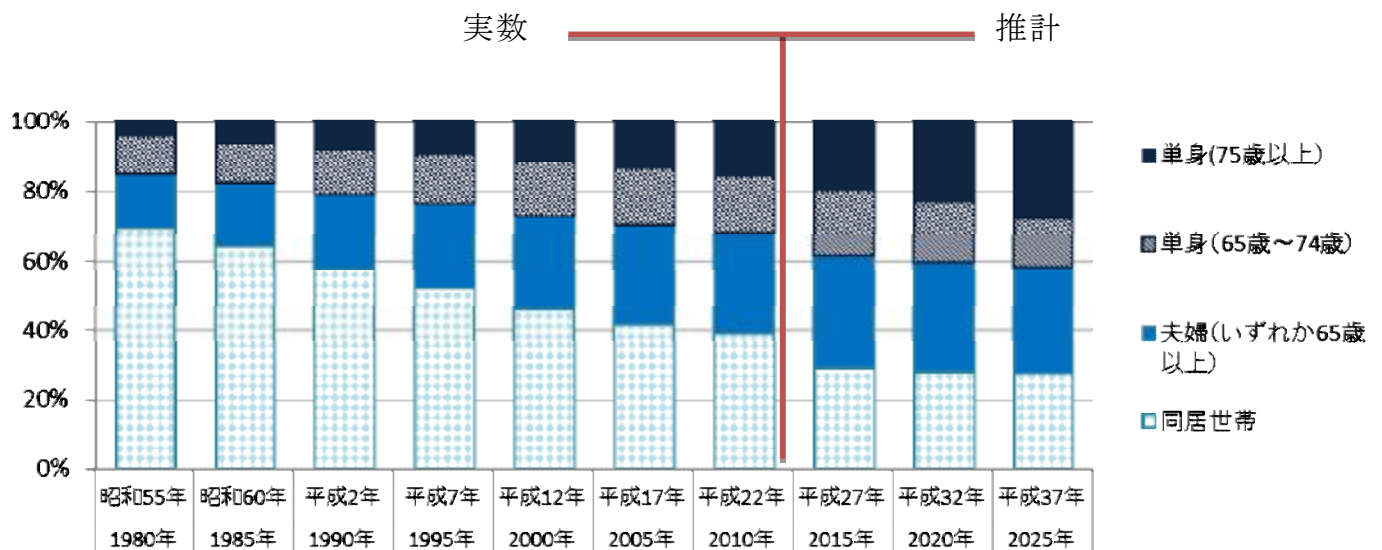
高齢者の単身世帯の増加が顕著ですが、とりわけ75歳以上の単身高齢者世帯は、平成22年では21万2430世帯でしたが、平成37年には40万6304世帯となり、倍増すると推計されます。

【大阪府における高齢者のいる一般世帯の状況】

	実数							推計値		
	昭和55年 1980年	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年
一般世帯(65歳以上の世帯員を含む)	475,291	547,586	628,378	766,630	939,894	1,142,131	1,345,444	1,423,529	1,491,041	1,467,121
65歳以上単身世帯総数	71,497	97,727	133,143	182,899	255,107	340,910	432,816	548,035	600,523	612,997
（再掲）75歳以上世帯	20,730	33,449	52,004	73,351	108,318	157,111	212,430	283,231	347,446	406,304
高齢夫婦世帯	73,391	98,705	132,509	185,118	252,263	325,214	387,712	465,153	475,517	454,748

資料 総務省国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 将来推計

【大阪府における高齢者のいる一般世帯の状況】



資料：総務省国勢調査 国立社会保障・人口問題研究所 将来推計

第4項 高齢者のいる一般世帯の住宅の状況

国勢調査によると、大阪府における平成22年の高齢者のいる一般世帯の住宅の所有関係は、持ち家に住む世帯が67.1%、次いで民営の借家18.5%、公営の借家9.7%の順となり、都市再生機構・公社等を含めた借家に住む総世帯は32.1%となっています。

バリアフリーの状況では、65歳以上の高齢者が暮らす住宅のうち60.9%が「高齢者のための設備がある」となっています。

【大阪府における高齢者のいる一般世帯の住宅所有関係別世帯数】

住宅の所有の関係	世帯数			割合(%)			増減数		増減率	
	平成12年	平成17年	平成22年	平成12年	平成17年	平成22年	12~17年	17~22年	12~17年	17~22年
	2000年	2005年	2010年	2000年	2005年	2010年	2000~2005年	2005~2010年	2000~2005年	2005~2010年
住宅に住む高齢者のいる一般世帯	937,213	1,139,541	1,341,743	100.0%	100.0%	100.0%	202,328	202,202	21.6%	17.7%
主世帯	930,320	1,131,614	1,330,958	99.3%	99.3%	99.2%	201,294	199,344	21.6%	17.6%
持ち家	618,131	755,685	899,846	66.0%	66.3%	67.1%	137,554	144,161	22.3%	19.1%
借家	312,189	375,929	431,112	33.3%	33.0%	32.1%	63,740	55,183	20.4%	14.7%
公営の借家	90,132	113,250	129,647	9.6%	9.9%	9.7%	23,118	16,397	25.6%	14.5%
公団・公社の借家	31,188	42,315	48,312	3.3%	3.7%	3.6%	11,127	5,997	35.7%	14.2%
民営の借家	186,232	216,254	248,568	19.9%	19.0%	18.5%	30,022	32,314	16.1%	14.9%
給与住宅	4,637	4,110	4,585	0.5%	0.4%	0.3%	-527	475	-11.4%	11.6%
間借り	6,893	7,927	10,785	0.7%	0.7%	0.8%	1,034	2,858	15.0%	36.1%

資料：総務省国勢調査

【高齢者が居住する住宅のバリアフリー状況】

	総数	高齢者等のための設備状況							洋式トイレの有無		
		高齢者等のための設備がある							高齢者等のための設備はない	あり	なし
		総数	手すりがある	またぎやすい高さの浴槽	廊下などが車いすで通行可能な幅	段差のない屋内	道路から玄関まで車いすで通行可能				
27 大阪府											
65歳以上の世帯員のいる主世帯総数	100.0	60.9	51.0	26.7	18.0	18.1	17.2	38.6	90.6	8.9	
専用住宅	100.0	60.8	50.6	26.9	18.3	18.4	17.4	38.7	90.7	8.8	
一戸建	100.0	67.5	60.9	31.5	16.4	15.8	12.8	32.1	93.0	6.6	
長屋建	100.0	53.6	46.7	17.0	3.9	9.3	12.4	45.0	74.5	24.2	
共同住宅	100.0	52.6	36.7	22.3	24.1	24.1	24.9	46.9	90.7	8.8	
その他	100.0	75.0	68.8	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	93.8	6.3	
店舗その他の併用住宅	100.0	65.4	59.8	23.6	10.6	10.4	14.1	34.2	89.0	10.6	

資料：総務省 平成25年住宅土地統計調査

第5項 認知症高齢者の推計

大阪府の高齢者数が平成24年の210万人から平成37年の246万人へと増加するのに比例して、認知症高齢者数は平成24年の32万人から平成37年には47万人に増加すると見込まれます。

これは、平成27年に公表された認知症の有病率（高齢者のうち認知症の人の割合）を基に、高齢者人口（国立社会保障・人口問題研究所による）を乗じて推計した数値です。

【大阪府の認知症高齢者の推移】

(千人)

	平成24年 (2012年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)
総人口	8,856	8,808	8,649	8,410	8,118
高齢者人口	2,099	2,345	2,467	2,457	2,476
認知症高齢者数	315	368	424	467	515
有病率	15.0%	15.7%	17.2%	19.0%	20.8%

※有病率は、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究（九州大学）」による速報値。
総務省人口推計、国立社会保障・人口問題研究所による高齢者人口推計値に当該比率を乗じて推計した。

